



わたぐもこどもセンターだより 10月号



育児講座「姿勢が変わると子どもが変わる！親子で学ぶ未来のからだ作り」

(9/22 より予約開始) ※ネット・お電話での予約はできません。

・正しい姿勢とは ・子供の姿勢チェック ・姿勢作りの基本となる睡眠について

日時 令和7年10月23日(木) 10:00~11:00

場所 わたぐもこどもセンター

講師 竹村 司 先生 つかさカイロプラクティック院 総院長

カイロプラクター歴約22年。米国テキサスカイロ大学へ短期留学の経験があり、日本では数少ない、

米国カイロプラクティック協会のメンバー。今までに60,000人以上の患者様対応をされており、

経験・知識ともに豊富で権威のあるカイロプラクターです。

費用 無料

定員 5組

持ち物 水分補給できるもの(水・お茶のみ)



地域支援「えいごでハロウィン」(9/22より予約開始)

※ネット・お電話での予約はできません。

インターナショナルスクールの先生とハロウィンを楽しみましょう！

ネイティブの先生によるリズム遊びや絵本の読み聞かせがあります。

ベビー向けのプログラムになります。

日時: 令和7年10月27日(月) 10:15~11:15

定員: 5組

場所: わたぐもこどもセンター

★持ち物: 水分補給できる水か麦茶

仮装OK!!



避難訓練

10月29日(水)

10:30~

地震を想定した避難訓練を行います。

来所者には全員、参加して頂きます。

子育てコラム 食事編



〈手づかみ食べは赤ちゃんの成長にとって必要なステップです。〉

食べ物にさわる、その感触や温度を感じる、食べ物がこぼれたり落ちたりするのを見る、といった一連の出来事は、赤ちゃんの好奇心や五感を刺激します。また、食べ物をつかんだり口に運んだりすることで、ものと自分との距離感を学びます。

こうして、自ら触れることで感覚機能・運動機能・認知力が身についていきます。

さらに、手指の皮膚への刺激は、赤ちゃんの脳の発育にもとても大切です。

手づかみ食べ期は、赤ちゃんに周りを汚されることに大人はイライラしてしまうシーンもあります。

テーブルの下にレジャーシートや新聞紙を敷いたり、汚れてもいい服で食事したりして、自分や赤ちゃんを責めずに過ごしてくださいね。

〈手づかみ食べから一歩進むとスプーンを使い始めます〉

じゅうぶんに手づかみ食べを経験することで、スプーンで食べ物をすくう手首の操作、食べ物を落とさず保つ手指の調整、口元まで運ぶ一連の動作につながってきます。

スプーンはしっかり握れるよう、太めの柄のものを選ぶと良いでしょう。

一口量を知らせるためにもたくさんすくえてしまうスプーンは避けましょう。

上手持ち→下手持ち→3点持ちの経験を経て、ゆくゆくはお箸へとつながっていきます。